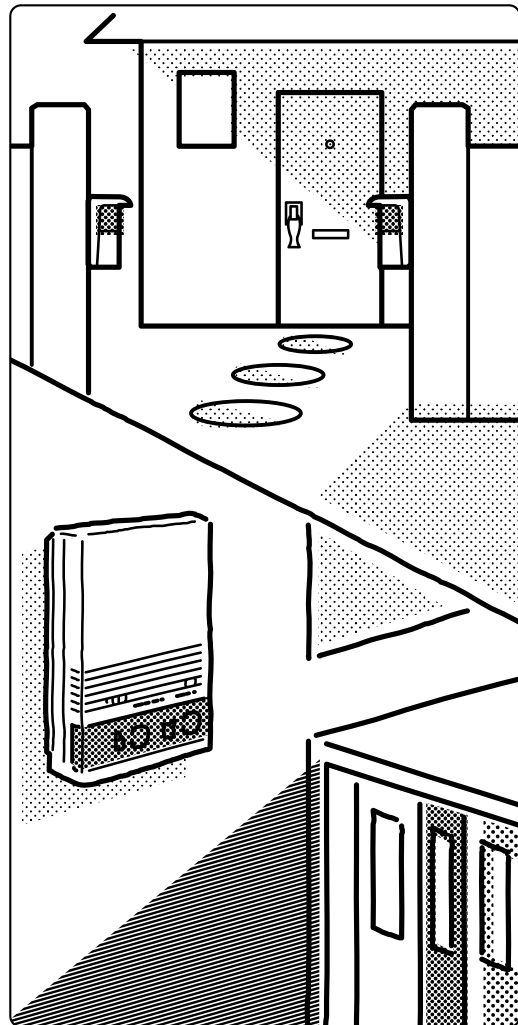
Panasonic

ハイハイ店番10

品番 **EL3110K**

取扱説明書

保証書別添付

施工説明書別添付

●このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

●保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともにに大切に保管してください。

ご使用前に

●この商品は来客などを自動的にキャッチし、チャイムでお知らせする機能を持っています。
また、人などの侵入を知らせる警報モードに切り替えることができます。

●盗難事故などの損害については、責任を負い兼ねますのでご了承ください。

891 M67 00009 M0595-70708Y

安全上のご注意

■必ずお守りください

⚠警告

分解禁止

絶対に分解（指定以外の分解）したり、修理・改造しない。
感電の原因となります。

ご注意

●この商品は予備電源（バッテリー）を内蔵していませんので停電の場合は動作しません。
●人が投・受光器の前で止まると動作しません。
●投・受光器はくぐったり、またいで通ったりしますと動作しません。
●投・受光器の検知エリアの延長線上に動く物を置かないでください。
誤動作の原因となります。

使用上のご注意

●水をかけないで!
故障の原因となります。

●ストーブなど高温の物を近づけないで!
故障の原因となります。

●炊飯器など湯気の出る物を下に置かないで!
故障の原因となります。

お 手 入 れ

ふだんのおそうじは…

やわらかい布でふき取ってください。

汚れが目立つときは…

中性洗剤を薄めた液にやわらかい布を浸し、固く絞ってふき取ってください。
噴霧式の洗剤は使用しないでください。

ベンジンなどは引火性があるため、使用しないでください。

各部のなまえとはたらき

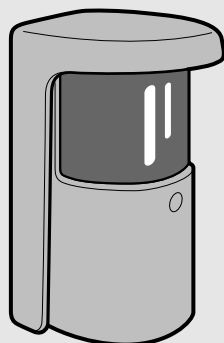
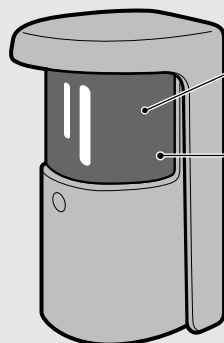
本体（EL23001K）

● 来客および侵入者を検知すると表示灯が点滅・点灯し、報知および警報音が鳴動します。

投光器・受光器

● 来客および侵入者を検知すると本体に信号を送ります。

投光器（EL311051）　受光器（EL311071）

■仕様

本体（EL23001K）

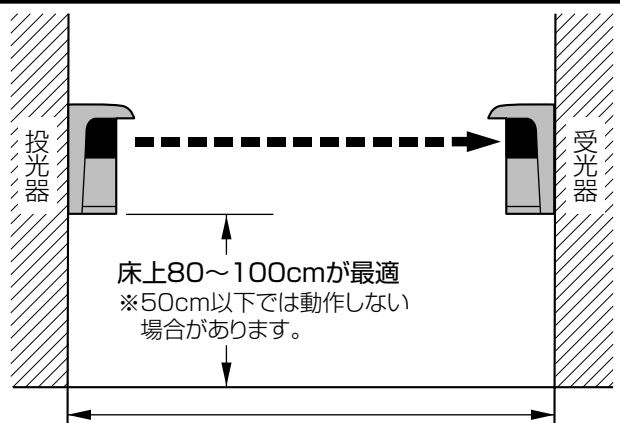
項目	仕様
電源電圧	AC100V　50/60Hz
消費電力	動作時8W、待機時6W
使用場所	屋内（水や水蒸気がかからない場所）
使用周囲温度	−10℃〜+40℃
報　知　音	ピンポン、ポロロン、ブー（3種類）
警　報　音	ピーポー
増設信号器容量	報知出力1A　30V　AC/DC 約2秒（無電圧接点出力）
	警報出力1A　100V　AC 約3〜60秒可変または連続（無電圧接点出力）
質　　量	約600g

投光器・受光器（EL311051・EL311071）

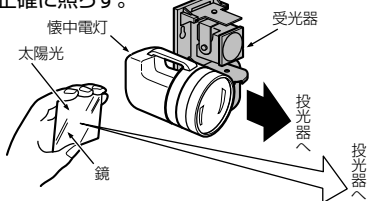
項目	投光器（EL311051）	受光器（EL311071）
電源電圧	DC12V（本体から供給）	
消費電流	30mA	40mA
使用場所	屋外または屋内	
使用周囲温度	−20℃〜+50℃	
使用周囲照度	50,000ルクス以下	
有効検知距離	直線距離で約10m	
動作最小遮光時間	約0.2秒	
質　　量	約650g	

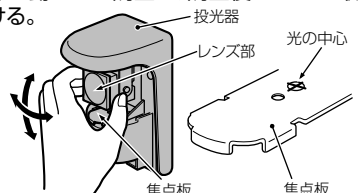
接続可能機器

機器	仕様
増設スピーカー	1台のみ（8Ω）
報知制御負荷機器	AC/DC30V 1A以下の機器
警報制御負荷機器	AC100V 1A以下の機器
来客報知用押ボタン	チャイム用小型押釦など

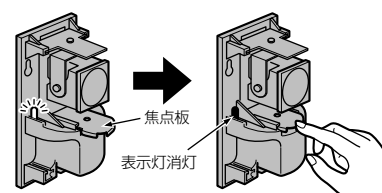
検知エリアの説明

● 投・受光器の有効検知距離は約10m以内です。
(必ずこの範囲で使用してください。)

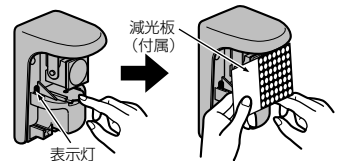
■光軸調整のしかた

❶ 受光器の近く(受光器より30cm以内)から懐中電灯などの強力ライトで投光器に向かって正確に照らす。

※日差しの強い屋外で調整する場合は、小型の鏡で太陽の反射光を利用すると、より容易に調整できます。

❷ 照らしている光の中心(直径約2mmの輪)が焦点板の「+」印にくるように投光器のレンズ部を動かして調整し、調整後カバーを取り付ける。

● 手や帽子などでおおって、焦点板表面を薄暗くすると、光の中心がよくわかります。

❸ ❶❷と同様に投光器から受光器を照らし、焦点板の「+」印に光の中心がくるように調整する。

❹ 受光器の焦点板を押し込み、動作表示灯(赤色)が消えることを確認する。

● 動作表示灯が消灯しない場合は、手順❶～❹を再度行ってください。

❺ 受光器の焦点板を押し込んだ状態で付属の減光板を使って遮光したとき、動作表示灯が消灯することを確認し、カバーを取り付ける。

● 減光板で遮光したとき、動作表示灯が赤色点灯する場合は光軸調整が不十分ですから手順❶～❺を再度行ってください。

❻ 光軸調整後、光線を遮光して本体の動作を再確認してください。

便 利 メ モ(おぼえのため、記入されると便利です。)

お買い上げ日	年　月　日	品　番	EL3110K
販 売 店 名	電話(　　) －		
お客様ご相談窓口	電話(　　) －		

パナソニック電工株式会社 HA・セキュリティ事業部
〒514-8555 三重県津市藤方1668

© Panasonic Electric Works Co., Ltd. 2008

使い方

● お客様が来ると…

■モード説明

● 来客および侵入者などを検知し、本体表示灯の点灯・点滅、警報・報知音の鳴動でお知らせします。

本体の状態 / モード	通　常	来客・侵入を検知したとき	来客報知用押ボタンを押したとき
報知モード	● 報知表示 緑色点灯	● 報知表示　緑色点滅 ● 報知音鳴動 注1 〈報知音の止め方〉 ● 検知エリアから人などが出ると自動的に止まります。 （切モードにしても止まります。）	● 報知表示　緑色点灯 （通常と同じ状態） ● 報知音鳴動 注1 〈報知音の止め方〉 ● 押ボタンを離すと自動的に止まります。
警報モード	● 警報表示 赤色点灯	● 警報表示　赤色点滅 ● 警報音「ピーポー」音鳴動 〈警報音の止め方〉 ● 切モードにしてください。 警報時間の設定を「オートストップ」側にしている場合は、設定した時間（約3～60秒）で自動的に止まります。自動停止後は警報モードを継続します。 （警報時間の設定については、施工説明書参照）	● 警報表示　赤色点灯 （通常と同じ状態） ● 報知音鳴動 注1 〈報知音の止め方〉 ● 押ボタンを離すと自動的に止まります。
切モード	● 報知・警報表示とも消灯	● 報知・警報表示とも消灯 ● 報知・警報音とも鳴動しない （通常と同じ状態）	● 報知・警報表示とも消灯 ● 報知音鳴動 注1 〈報知音の止め方〉 ● 押ボタンを離すと自動的に止まります。

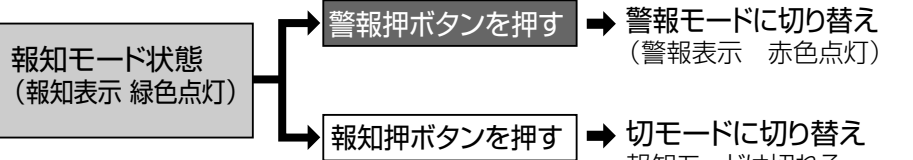
注1 本体の報知音は「ピンポン」音、「ポロロン」音、「ブー」音が選択できます。施工店に相談してください。

● 警報モードは定期的に動作確認を行ってください。

● 来客報知用押ボタンについては、別途お買い求めください。

モードの切替方法

● 報知押ボタンと警報押ボタンにより、本体の報知モード・警報モード・切モード設定の切り替えができます。

報知モード状態（報知表示 緑色点灯）
- 警報押ボタンを押す ➡ 警報モードに切り替え（警報表示　赤色点灯）
- 報知押ボタンを押す ➡ 切モードに切り替え　報知モードは切れる（報知・警報表示とも消灯）

※警報モードの状態からでも、モードの切替方法は同じです。

※切モードでは検知しても本体は動作しません。

音色の選択

	音　色	音　量	鳴動時間
報知側	ピンポン	65dB以上（可変）	約3秒
	ポロロン	65dB以上（可変）	約6秒
	ブー	65dB以上（可変）	約2秒
警報側	ピーポー	70dB以上（可変不可）	約3～60秒（可変）または連続

故障かな?と思われたら

● 修理、サービスを依頼される前に、次の点検および処置をしてください。

状　　態	点　　検	処　　置
全く動作しない	● 本体の通電表示灯が消灯していませんか。	➡ 本体のカバーをはずし、電源を入れる。(施工説明書参照)
	● 本体の警報表示と報知表示がいずれも消灯していませんか。	➡ 警報押ボタンもしくは、報知押ボタンを押す。
	● 電源を入れてから5秒以上経過していますか。	➡ 約5秒間待ってから、動作の確認を行ってください。
誤動作する	● 投光器および受光器の検知窓がホコリや水滴で汚れていませんか。	➡ やわらかい乾いた布でふき取る。シンナー、ベンジン、殺虫剤などの化学薬品は商品の表面をいためますので使用しないでください。
	● 投光器と受光器の間に障害物がありませんか。	➡ 障害物を取り除く。
	● 太陽光の強い反射、ヘッドライトなどの光が当たっていませんか。	➡ 遮光できる板などを取り付ける。取付場所を変更する。

保証とアフターサービス

(よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は…

● 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談センター」へ!
● 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ!

■保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保管してください。

保証期間:お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間 7年

当社は、このハイハイ店番10の補修用性能部品を製造打切り後7年保有しています。
注)補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき

「故障かな?と思われたら」に従ってご確認のあと、直らないときは、まず本体の電源スイッチを「OFF」側にして、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容			
製　品　名	ハイハイ店番10	お買い上げ日	年　　月　　日
品　　番	EL3110K	故障の状況	できるだけ具体的に